

担当役員ごあいさつ

04

環境先進企業を目指して

環境保全への取り組みが世界的な課題となっている今、企業には環境活動を積極的に進め、持続的発展が可能な資源循環型社会の実現に貢献することが求められています。

2000年度はゼロエミッションの推進を中心に環境全般に関する課題に取り組んできました。以下に重要課題の成果と今後の展望についてご紹介させていただきます。



ゼロエミッション

廃棄物を出さない具体的施策としてクローズドシステムの導入を行いました。また、やむを得ず排出される廃棄物の再使用と再資源化を進めております。今後、クローズドシステムの横展開を図るとともに、100%再資源化への取り組みを進め、2004年3月までのゼロエミッション達成に向けて推進してまいります。また、海外事業所でも5事業所を対象にゼロエミッションを推進しておりますが、TRE では既にゼロエミッションを達成しております。

鉛フリー化

鉛フリーはんだへの技術対応は既に完了し、量産化と承認活動を推進中です。並行して、材料の非鉛化の技術的取り組みを継続して進めております。

省エネルギー

生産性の改善等あらゆる努力を続けておりますが、自主推進目標値に対しては大幅に未達となっております。そこでエネルギー管理体制の構築と、一層の省エネルギーを進めるための現状把握と具体的なテーマの設定推進を加速し、さらなる努力を続け目標達成を図ってまいります。

環境マネジメント

新たに海外4事業所と本社でISO14001の認証を取得した一方、生産形態の見直しに起因する工程移管等の原因で一部海外事業所の認証取得が遅れておりましたが、これらの事業所においても2001年12月までに全て認証取得の計画です。

TDKは持続的発展に向けて「未来のために今何ができるか」を社員一人ひとりが考え、行動することにより、資源循環型社会の実現に貢献できると確信し、さらに取り組んでまいります。

TDK株式会社
安全環境担当役員
専務取締役

西藤俊次郎